

ベトナム最新情報

2019年5月15日（水）

— 通巻4592号 —

目次

○ 政治・経済

- = ベトナムの銀行業界、サービス部門の売上が急増
- = ペトロリメックス、直営のガソリンスタンドでコンビニ事業を計画
- = ベトナム航空、ホーチミン証券取引所に上場
- = ベトナムの農林水産業、年初4か月の状況
- = Bkav 社、AI 搭載のウイルス対策ソフトを公開

○ 社会・文化・トレンド

- = ホーチミン市のマンション価格、1年で12%上昇

○ 税務・法律

- = ナショナルシングルウインドウ、2万8,800社が参加

○ 統計情報

- = 今年の国債発行、年間計画の約3割を達成

○ 為替・証券市場動向

○ 入札情報

○ コラム

- = 「大学進学だけが人生ではない」、高校生に広がる選択肢

******* 政治・経済 *********ベトナムの銀行業界、サービス部門の売上が急増**

Vietcombank が発表した 2019 年第 1 四半期の連結財務報告書によると、連結の税引き前利益は 5 兆 8,780 億ドン（約 294 億円／34.8%増）、主にけん引したのは融資だが、サービスからの利益が 1 兆 690 億ドン（約 53 億円／23%増）、利益全体の 18%を占め、印象的な伸びを見せた。

他行もサービス部門が大きく伸びている。

VPBank では税引き前利益 1 兆 7,000 億ドン（約 85 億円／1.1%増）に対しサービスだけで 7,450 億ドン（約 37 億円／137%増）の利益を出した。理由として同行幹部は、手数料収入の成長戦略で成果が出ており、銀行サービスのデジタル化が進み、収入源の多様化につながっていると説明する。

MB もサービスによる利益が 7,590 億ドン（約 38 億円／141%増）となったが、急激な伸びは子会社 MB Ageas Life の貢献によるもので、保険事業からの利益が 4,590 億ドン（約 22 億円）で前年同期の 12 倍となった。同行全体の連結税引き前利益は 2 兆 4,240 億ドン（約 121 億円／26.3%増）となった。

VIB の第 1 四半期の税引き前利益は 8,100 億ドン（約 41 億円／56%増）、サービスから 3,480 億ドン（約 17 億円／168%増）、サービスからの利益増大に貢献したのが保険の手数料収入で 2,090 億ドン（約 10 億円／10.5 倍）、決済サービスからは 990 億ドン（約 5 億円／27%増）だった。

第 1 四半期の業績を見ると、銀行業界の 2019 年の見通しは明るいといえる。

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 4 月 23 日,P.10)

ペトロリメックス、直営のガソリンスタンドでコンビニ事業を計画

Petrolimex(証券コード：PLX)の管理委員会は、2019 年の定期株主総会で、同グループが 5 年前からコンビニチェーンの展開を計画しており、事業の開始が近いことを明らかにした。

計画によると Petrolimex は、約 1,500～2,000 品目を取り扱い、独自のルートでサービスを展開していく。

現在同社は、同グループ直営のガソリンスタンド 2,500 店舗近くの中から、どの店舗がコンビニ経営に適しているかを選別し、慎重に検討しているという。

戦略パートナーである JX Nippon Oil & Energy Vietnam コンサルティング社は、Petrolimex のコンビニ展開を支援する予定だ。

■日本の戦略パートナーは JX

JX Nippon Oil & Energy Vietnam コンサルティング社は、Petrolimex の株 8.84% (約 1 億 360 万株相当) を保有する大株主だ。

今年の定期株主総会で JX の担当者は、今後も PLX の株を保有し、今後の Petrolimex の増資に合わせて保有株を 20%に増やしたい意向を表明した。

日本では、親会社の JXTG エネルギー社が、車の修理サービスや車検まで複合的に行うカーケアビジネスを展開している。これは Petrolimex が今後研究し、事業化を検討している。

もう一つ有利になる点は、全国各地に広がる最大のガソリン供給流通網だ。2018 年の年次報告によると、同グループは全国 63 の省市に 5,200 店舗 (うち 2,500 店舗は直営店) と大規模に展開し、販売に便利な立地で、国内ガソリンの販売シェア 50%以上を占めており、現在、全国の主要な都市に 12 の子会社を持っている。

これらの店舗は小売企業にとって極めて重要で、Petrolimex にとっての大きな利点だ。

2018 年は、世界経済が複雑な状況にも関わらず、Petrolimex は計画を 21%上回る、約 192 兆ドン (約 9,600 億円) の売上を達成し、税引き前の連結経常利益は 5 兆ドン (約 250 億円) を超え、年間計画を達成した。

同グループは 2018 年に新たに 120 店舗のガソリンスタンドに投資し、79 店舗が完成し、75 店舗が正式に運営を開始した。2019 年は前年比 2%増の 195 兆ドン (約 9,750 億円) の連結売上高と、4%増の 5 兆 2,500 億ドン (約 262 億 5,000 万円) の税引き前連結経常利益を目指している。

■ガソリンスタンドに併設で参入

コンビニ分野に参入する Petrolimex は、サークル K、セブンイレブン、VinMart+など国内外の多くのライバル企業と競合することになる。

今年の 4 月初めには、ベトナム国内のコンビニ先駆者である Shop&Go が Vin グループに店舗を 1 ドルで譲渡し撤退を決めた。2005 年に設立された The Shop and Life Joint Stock Company は、日用品の小売ビジネス分野で事業を行い、Shop&Go のコンビニチェーンを所有していた。

Petrolimex の最大の課題は、立地が良く、便利な場所で、隣にコンビニを併設できる十分な広さのあるガソリンスタンドの選定だ。

小売市場の専門家によると、コンビニの成功に最も影響を与える要素は立地で、若者向けの飲食サービスやパーソナルケア商品は、コンビニを大勢の人が集まる場所に変化させ、多様な客層から支持されている。

専門家によると、Petrolimex の各ガソリンスタンドは、ベトナムの大都市で普及しているカフェやファーストフード店との融合モデルとなるコンビニのイメージを打ち出していく必要があるが、様々な商品を提供し、さらに利便性を高めなければならない。

そのため、今後もコンビニの傾向は依然として、ベトナム人に必須となったイートイン

スペースを十分に取れる 100~120m² 程度の店舗の展開に注力必要があるという。これは Petrolimex がコンビニを成功させるための立地条件において課題となるだろう。

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 5月13日,P.8)

ベトナム航空、ホーチミン証券取引所に上場

UpCoM 市場での取引登録から 2 年あまり、ベトナム航空 (HVN) がホーチミン市証券取引所 (HOSE) に上場した。

■ANA の株式保有と時価総額の増大

これまで VietJet Air の他は、空港インフラサービスや機内食といった補助的な分野の小規模な企業しか存在しなかった HOSE に新たに 14 億の航空株が加わり、投資家には選択肢がより増えたことになる。

2016 年に ANA ホールディングスは 1 億 800 万ドルで HVN 株を 8.8%取得している。HVN は UpCoM で基準価格 2 万 8,000 ドン (約 140 円) から取引を開始し、現在の株価は 4 万 1,000 ドン (約 200 円) 前後で推移している。

これは HVN が IPO を実施し、日本の株主を得た時点で 15 億ドルだった時価総額は 25 億ドル近くに増大したことになる。

証券会社の SSI 社の担当者によると、「HVN は HOSE の時価総額トップ 20 に入るでしょう。来年初めにも HVN が VN30 に入ることを期待しています」と話す。

鞍替えする銘柄は珍しくないが、優良株は少ない。HVN の HOSE 上場はその規模だけでなく、航空業界の銘柄であるため大きなインパクトを与えると期待されている。

■HOSE 上場自体が、ベトナム航空にとって好材料

HOSE 上場は、企業の信頼性を証明するばかりでなく、流動性は UpCoM より格段に高く、様々な価値をもたらす。これは、管理機関、既存投資家、潜在投資家の三方全てに利益となる。

流動性の高い銘柄が上場することで、国は資本引き揚げが容易となる。政府は現時点で HVN 株の約 86%を保有しており、2020 年には 51%まで引き下げる予定だ。

保有率を引き下げるために国は株式を売却することもできるし、HVN に新株を発行させることもできる。実際的には、今後の事業計画のためには増資することになるだろう。これも、個人また機関投資家がベトナムの航空業界へ投資するチャンスとなる。

先日晒された目論見書に基づけば、現在 HVN の個人株主は 1 万 3,398 で計 2.91%を保有、機関投資家は 65 で 10.9%を保有している。

■航空市場の拡大

全体的に見て、航空株は非常に魅力的だ。ベトナムの航空業界は大きな潜在力を持ち、

安定して伸びている。2018年の市場の総輸送数は6,340万人（12%増）で、うち国内線が6.9%増、国際線が19.4%増と成長が続いている。

国際航空運送協会（IATA）によると、2014～2017年にベトナムは世界で最も航空市場の発展が著しい国として7位にランクしており、2035年までベトナムは年平均14%の成長が見込まれ、航空市場の発展が著しい国として世界5位、東南アジアでは1位となる見通しだ。

新規参入もあり航空市場の魅力は増している。2019年はじめからBamboo Airwaysが正式参入し、AirAsiaも先日Thien Minhとの交渉を取りやめたものの、魅力的な地理的位置に、連続的に規模拡大している市場を重視するという認識に変化はない。

HOSEはベトナム航空にとっては新しい株式市場となるが、資金調達できるチャンスは高い。同航空には独特の長所があるからだ。

そのひとつに子会社Jetstar PacificとVascoがあり、緊密な連携で幅広い顧客層をカバーしている。利用客にとって、良質なサービスでフライトが便利な時間帯で便数が多い事を望む人もいれば、サービスは最低限も安ければ良いという人もいる。遠隔地や国境地帯、島々へのフライトニーズもある。ほかにも地上サービスからフォワードینگ、機内食まで様々な子会社・関係会社を持つ点も有利だと言えるだろう。

■ベトナム航空の業績、今後の成長予想

SSI証券はレポートで、債務の削減努力が実を結びつつあると評している。2018年は自己資本に対し債務が2倍だったが、2017年と2016年は順に2.6倍、3.4倍であり、徐々に改善されている。その他の財務指標も、健全なレベルへと改善しつつある。

2018年の会計監査済財務報告書によると、連結売上97兆5,890億ドン（約4,879億円／17%増）、税引き後利益は2兆5,980億ドン（約130億円）。税引き前利益が5%近くの伸びで、事業活動の粗利は15%近く伸びている。

燃油価格が上がり、インフラは飽和状態、人材など困難が多かった昨年の航空業界の状況を見れば、かなり印象的な数字と言える。

HVNは今年新たに22機の納入を受け、現在リース運用している3機を交換する。保有する航空機数は112機と前年同期の20%増となる。この強化も、HVNが今年、取扱い2,500万人（14%増）、売上112兆ドン（約5,600億円／13%）増という目標を達成できるとSSI証券は評価している。

(Nhip Cau Dau Tu 5月6日,P.25)

ベトナムの農林水産業、年初4か月の状況

農業農村開発省によると、2019年4月の農林水産品の輸出金額が35億ドルに達すると見込まれている。年初4か月の全部門の総輸出額は124億ドルに上ると見込まれており、これは昨年同期比と同様の水準で、貿易黒字は27億ドルになり、昨年同期比で8.7%減少

している。

林業総局によると、今年4月初旬、新たに植林した森の面積は4万6,000ヘクタールに上り、前年同期比で1.72%増加し、そのうち、生産用の新規植林の面積が4万5,800ヘクタールに達した。今年初めから今日までに生産した木材の量は623m³に上り、前年同期比で4.4%の増加となった。

■木材・木製品の輸出は好調、17.8%の増加

年初4か月で、全国から集金した森林環境サービス費は7,552億4,000万ドン(37億7,620万円)に上り、同額は年間計画の23.6%で、前年同期比で9%増加した。

2019年4月、全国の森林保護・開発法の規定に違反した例は682件で、66ヘクタールの森がその被害に合った(森林破壊が48ヘクタール、火事が18ヘクタール)。

4か月の累計では、規定違反は3,151件に上るが、前年同期比で1,076件(25%)減少し、その被害を受けた森林面積は192ヘクタールで、前年より23%減少している。

木材製品は年始から今日までで最も輸出が顕著な品目であり、農林水産製品の中で最も成長している分野である。

2019年4月の輸出額は8億7,500万ドルになると見込まれており、今年4か月の輸出金額は合計32億7,800万ドルに達し、前年同期比で17.8%の増加となる。

これによって、木材・木材加工部門の今年4か月の貿易は24億8,800万ドルの輸出超過と見込まれている。現在のベトナム林業製品の主要輸出先は、アメリカ、日本、EU、中国、韓国で、ベトナム林業総輸出額の87%を占めている。

■水産物輸出も安定

水産総局によると、今年4か月の水産部門の水揚げ量は220万トンに達し、前年同期比で4.9%増加すると見込まれている。

その内、天然の水揚げ量が114万トン(5%増加)、養殖部門が105万トン(4.8%増加)に上る。養殖部門では、バスが41万4,300トンで11%の増加、エビが11万9,100トンで5%の増加となった。

水産業も輸出部門が大きく成長した分野の1つであり、年初4か月の輸出額は24億8,000万ドルに達すると見込まれており、これは前年同期比で2.4%の増加となる。

そのうち、バスの輸出は6億3,500万ドルで4.3%の増加、各種エビの輸出は9億1,300万ドルに達する見込み。

■農産品の輸出量は増加、価格は下落基調

農業分野においては、今日までで南部の稲作地帯の収穫率は89%に達し、1ヘクタールあたり平均6.7トンの生産量があった。

養豚産業においては、アフリカ豚コレラの影響で、未だ大きな障害や課題が残っている。

畜産分野の群れの数では、昨年4月に比べて、牛の群れが3%、豚の群れは2.5%、家禽

の群れは 6.5%の増加となった。

年初 4 か月で、一部の農産品の輸出額は安定した伸びを見せ、カカオは 5 億 5,900 万ドルに達し、前年同期比で 14.1%の増加、お茶は 6,200 万ドルで 14%増加した。

また、輸出量は増加したが、輸出額が減少した品目では、▽カシューナッツ・4.7%増加・9 億 2,200 万ドル (13.3%減少)、▽胡椒・21.4%増加・2 億 8,800 万ドル (6%減少) となっている。

米、コーヒー、キャッサバ及びキャッサバ製品は輸出量、額ともに減少した。年初 4 か月で、▽米・8%減少・9 億 1,500 万ドル (19%減少)、▽コーヒー・13%減少・11 億 3,000 万ドル (19%減少)、▽キャッサバ及びキャッサバ製品・14%減少・3 億 5,600 万ドル (3.3%減少) であった。畜産業は 1 億 7,000 万ドルで 6.5%の減少だった。

主要品目である米の消費市場は長らく陰りを見せていたが、この 1 週間 (4 月 25 日～5 月 1 日) は、6 週間ぶりの回復を見せた。価格上昇の原因は、輸入各国が輸入額を引き上げたことによる。

一方で、ドンが為替市場で更に弱まったこともアジアの輸出市場における米価格の上昇に影響していると考えられる。輸出米 (砕け米 5%の種類) の価格は 4 月中旬で 1 トンあたり 360 ドルだったが、同月 25 日には 370 ドルに値上がりした。

こうした中、世界最大の米輸出国であるインドでは、4 月中旬に 1 トンあたり 380 ドルだった輸出米 (砕け米 5%の種類) の価格が、同月 25 日には 375 ドルまで値下がりした。一方、タイ米の同時期の価格は、競争力の面でインドやベトナムに劣っていた。

一方、年初 4 か月の農林水産品及び農業物資の総輸入額は 97 億ドルで、前年同期比で 3.2%増加した。今日までで、農林水産品の輸出超過額は 27 億ドルに上り、前年同期比で 8.7%減少した。

(Thoi bao Kinh te Viet Nam 5 月 3 日,P.9)

Bkav 社、AI 搭載のウイルス対策ソフトを公開

インターネットセキュリティ会社である Bkav のウイルス監視システムによると、世界では 1 日に 150 万タイプのウイルスがインターネット上に放たれているという。

これらの大半は、ターゲットの情報・データを最大限に収集することを主な目的としたシナリオ型攻撃をする有害コードだ。

ベトナムでは 2018 年に 60%超の機関・企業のシステムがこういった有害コードの被害に遭っており、ユーザーの被害額は 14 兆 9,000 億ドン (約 745 億円) に達している。

Bkav の Scenario Attacks Prevention (SAP) 技術を統合したウイルス対策ソフト「シナリオ・アタック・プリベンション 2019 年版」には、高度標的型攻撃 (APT 攻撃) や、ランサムウェア、マイニングウイルスといった標的型シナリオ攻撃を自動分析し、早期発見し、防止する人工知能 (AI) を搭載されているという。

(Sai Gon Giai Phong 5 月 9 日,P.4)

******* 社会・文化・トレンド *********ホーチミン市のマンション価格、1年で12%上昇**

不動産サイトの Batdongsan.com.vn は、2019年4月のホーチミン市におけるマンション価格変動オンライン調査を公表した。価格は前年同期比で着実に上昇傾向にある。

現在、ホーチミン市のマンション1平方メートルあたりの平均価格は、3,356万ドン（約16万7,800円）で、昨年4月の時点では平均3,010万ドン（約15万500円）だったことから、1年間で12%価格が上昇、毎月1%の上昇を続けている計算になる。

ホーチミン市のマンション価格は年々上昇しているが、今年3月から4月にかけての上昇率は0.4%と上昇率は鈍化している。

市場のマンションの平均価格は、新たに発売されるマンションの販売価格に左右される。

CBRE Vietnam の2019年第1四半期報告では、年初3か月のホーチミン市場におけるマンションの平均販売価格は、前期比3.1%、前年同期比で14.9%の上昇となった。

上昇率が高かったのは、1平方メートルあたり7,500~1万2,000ドルという記録的な価格で第1四半期に販売を開始した、AlfaKingによる超高級マンションなどの影響とされている。

(VnExpress 5月14日)

******* 税務・法律 *********ナショナルシングルウインドウ、2万8,800社が参加**

税関総局によると、2019年4月15日時点でナショナルシングルウインドウ（NSW）ポータルには13省庁が参加し、173の行政手続きを統合した。これまでに処理した書類は2万8,800社あまりの259万件超。年内に61の行政手続きが新たにNSWに統合される予定となっている。

税関総局は月内に、輸出入や貨物の国境通過の国家管理業務に資する政府機関とNSW関係当事者間の接続と情報共有について定めた政令の策定計画を立案し、航空のシングルウインドウ化についても公安省と積極的に連携する。

また税関総局は今後、インドネシア、マレーシア、シンガポール、タイの4か国との電子原産地証明書フォーマットD（e-C/O form D）を交換し、カンボジアとフィリピンの2か国についてもC/O form Dの試験的な交換を行う。

(Thoi Bao Kinh Te Viet Nam 5月8日,P.4)

******* 統計情報 *******

今年の国債発行、年間計画の約3割を達成

ベトナム国家銀行は、2019年第2四半期のハノイ証券取引所を通じた国債入札計画を発表した。

国債の発行総額 80 兆ドン（約 4,000 億円）、内訳は償還期限 5 年：10 兆ドン（約 500 億円）、7 年：5 兆ドン（約 250 億円）、10 年：26 兆ドン（約 1,300 億円）、15 年：30 兆ドン（約 1,500 億円）、20 年：4 兆ドン（約 200 億円）、30 年：4 兆ドンとなっている。

市況や国家予算の必要性に合わせて、各償還期限の発行量は調整される可能性がある。

ハノイ証取では 4 月、国債入札を 4 回行い、調達額は 12 兆 5,760 億ドン（約 629 億円）。2019 年 4 月 25 日時点での調達額は 89 兆 445 億ドン（約 4,452 億円）であり、2019 年の年間計画（307 兆ドン [約 1 兆 5,350 億円]）の 29%を達成している。

(Nhip Cau Dau Tu 5 月 6 日,P.10)

為替・証券市場動向	
為替相場	キャッシュ 23,370 ドン/USD <国家銀行中心レート 23,064 ドン/USD > (5 月 15 日 15 時 00 分・Vietcombank)
株価指数	VN-Index 972.53 (△7.19/0.74%) VN 30 887.45 (△4.78/0.54%) (5 月 15 日後場終値・ホーチミン市証券取引所)

******* 入札情報 *******

【調達】 Bac Ninh 省各中学校の物理教室の設備調達

(Bac Ninh 省人民委員会承認 2019 年 5 月 2 日付文書 664/QD-UBND 号)

パッケージ名	パッケージ価格	資金源	請負業者 選択方法	請負業者 選択期間	契約 形式	契約実施 期間
物理教室の設備 調達	680 億 7,473 万ドン	国家 予算	国内公募 入札	2019 年 5 月	総価式	60 日

投資主：Bac Ninh 省教育訓練局

(電子入札システム 5 月 3 日)

******* コラム *******

「大学進学だけが人生ではない」、高校生に広がる選択肢

ベトナムでは 2015 年から、高校卒業と大学（短大含む）入学試験の統一試験が導入されている。教育訓練省の最新の調査によると、2019 年の同試験には、88 万 6,000 人の生徒が受験する予定だ。

そのうち、23 万 3,000 人を超える生徒が大学受験をせず、卒業判定試験だけに臨む。この生徒数が近年増えてきている。

■大学進学を希望したのはクラスでたった一人

Nghe An 省の統計では、高校 3 年生の生徒の 41%が、同試験で高校卒業認定だけに登録した。3 万 2,000 人の受験者のうち、1 万 3,000 人は大学入学を希望していないということになり、昨年よりも 2%増加している。

Nghe An 省 Cua Lo 2 高校の Dang Cong Huan 副校長は「大学入学試験に登録しなかった当校の生徒の割合は昨年と大きく変わっていません。中には、38 人いるクラスで、大学進学を希望したのがたったの 1 人だったというクラスもあります」と述べた。

副校長によると、同校の教育の質やレベルはさほど高いわけではなく、大学ランキングで上位にランクしているような有名大学に合格するのは非常に難しく、それ以下のレベルの大学に入学し、卒業したとしても就職は難しい。こうした状況から、同校では 1 年生の段階から、専門学校や職業訓練校などに進むこと道もあると指導しているという。

副校長は「生徒たちは、専門学校に入学するために必要な卒業証書を受領するために試験を受けます。教育を受けて手に職をつければ、安定した仕事を見つけられます」と話す。

Nghe An 省教育訓練局 Thai Van Thanh 局長は、同省の大学・短大入試に登録する生徒

の割合はここ数年減少を続けていると述べた。

生徒の保護者たちは、大学を卒業してから仕事を見つけられるのか、また学んだこととは全く違う分野の仕事をするのではないかと懸念している。こうしたことから、多くの生徒が高校を卒業してから、専門学校など他の道に進むケースが増えている。

■生徒の選択肢の広がりを歓迎

ホーチミン市職業訓練協会の Nguyen Quoc Cuong 副会長は、大学や短大進学を選択しない生徒が増えたことは、生徒やその父兄に対する進路指導が一つの原因になっていると考えられると述べた。

こうした取り組みは、高校入学時点から行われており、全ての生徒が大学入試に向かうという問題を緩和している。

副会長はまた、各高校のこうした進路指導は、生徒たちの考え方に変化をもたらしていると話す。多くの生徒が、どのような職業があるのかなど、専門学校に対しても関心を示すようになってきている。

「こうした取り組みで、生徒の意識が変わってきていることが目に見えてわかります。何としてでも大学に入らなければならないという考え方に代わりに、自分の得意分野や興味のある分野など、高校の卒業判定試験を受けてから、自分にあった道を選ぶ生徒が増えてきています」と同氏は説明した。

ホーチミン市食品工業大学入試部の Pham Thai Son 部長は、大学進学を希望しない生徒の増加は、喜ばしいことだと歓迎した。

Son 部長は、各省への学校紹介に赴くプロセスの中で、特に中部やメコンデルタ地方で、多くの生徒が専門学校に興味を示していることがわかったと述べた。これには 3 つの理由があるという。

一つ目は、専門学校卒業レベルの労働者を求めている企業が多いことから、学校は卒業後の学生に就職先を紹介する自信があり、学校で学んだスキルをそのまま仕事で活かすことができる。

二つ目は、就学年数が短いことから、長くても 2 年半で卒業でき、学業にかかる費用を抑えられる。

三つ目は、海外労働者輸出制度など、例えば日本は専門学校卒業レベルの労働者の派遣を求めており、日本で仕事をするだけで、貯蓄ができるだけでなく、技能、仕事に対する態度を磨くことができれば、ベトナムに帰国してから、外国企業に就職するための大きなアドバンテージになる。

「大学に入ればいい仕事が見つかる」、「大学に入らなければならない」という意識は徐々に変わりつつある。目的を持って大学で学ぶのは素晴らしいことだが、生徒たちには大学以外の進路でも、自分に合った道を選択してほしいと願っている。

(Bao Phap luat 5 月 2 日,P.13)